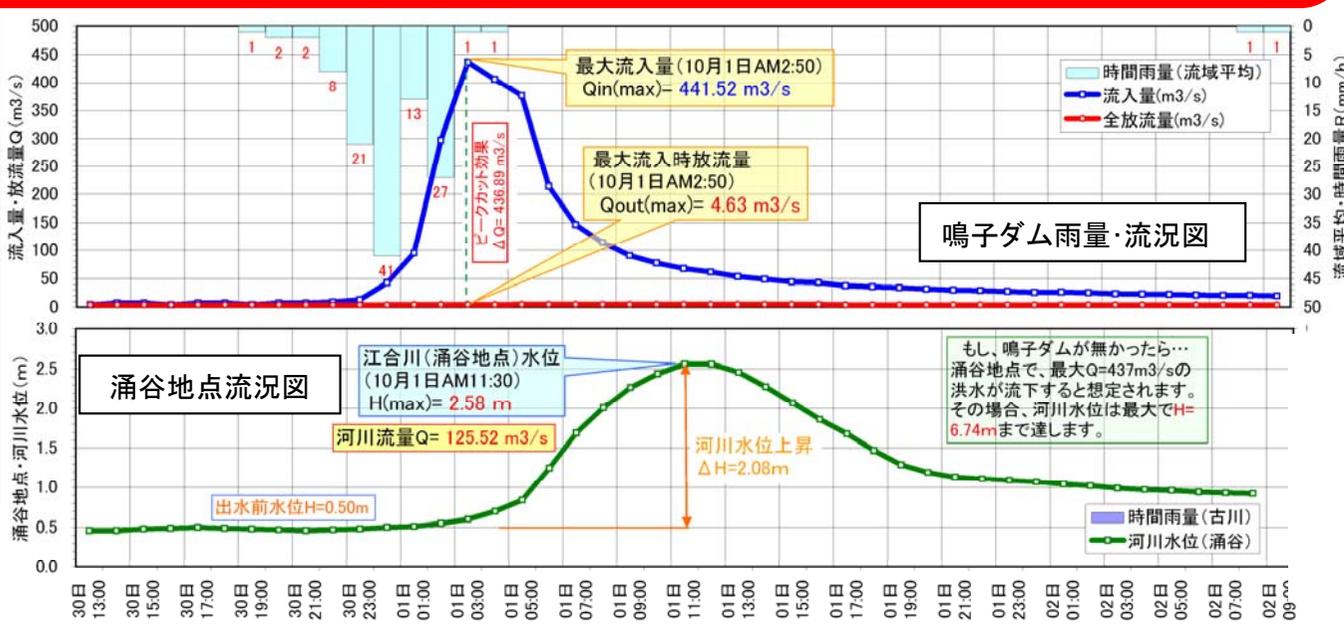


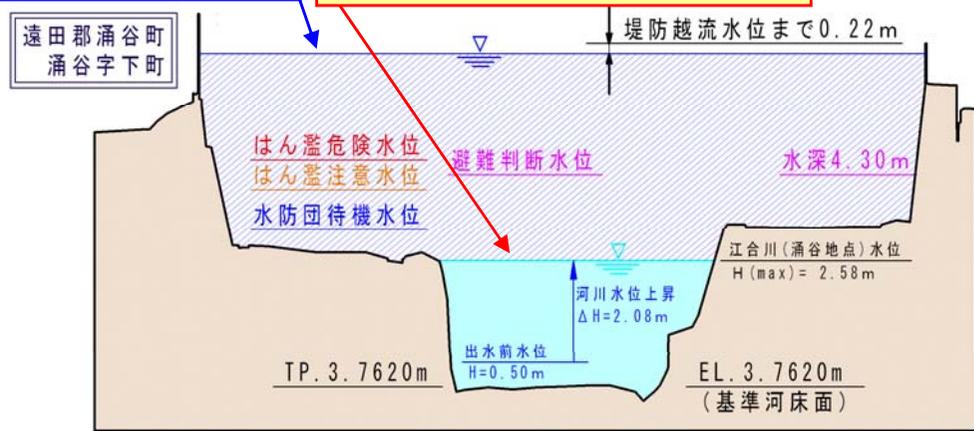
北上川水系江合川 鳴子ダムの防災効果(平成24年10月1日出水・台風17号)

- 鳴子ダム流域で平成24年9月30日19時～10月1日4時にかけて**累計117mm(最大時間雨量41mm/h)**の降水が発生しました。
- 鳴子ダムの洪水調節操作により、**洪水流入量10,460千m³の貯留**と**最大437m³/sのピークカット**を行い、江合川流域の洪水被害の軽減化を図りました。
- 鳴子ダムから約50km下流に位置する涌谷地点(宮城県遠田郡涌谷町)では、**河川水位を4.16m低減させる効果***があったと推測され、仮にダムが無かった場合、河川水位は「**はん濫危険水位**」を**2.14m超過**していたと予測されます。



ダムがなかった場合の推定河川水位
 最高水位 $H = 6.74 \text{ m}$
 ($Q = 436.89 \text{ m}^3/\text{s}$)

江合川(涌谷地点)水位
 最高河川水位 $H = 2.58 \text{ m}$ (TP.6.342)
 H24年10月1日11時30分発生、
 $Q = 125.52 \text{ m}^3/\text{s}$



江合川(涌谷地点)河道断面図 [10.8k下流付近]



涌谷地点の位置

※涌谷地点における河川水位低減効果量4.16mは、洪水流が新江合川で分流しなかった場合を想定しており、最危険側で算出した概略値である。